



令和3年度 学校だより

# はがきた

第6号 令和3年10月4日

## 教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。  
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

## 令和3（2021）年度折り返し！

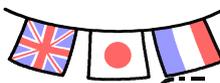
令和3年度が4月から始まりあっという間に6か月、10月1日を迎え折り返し地点となりました。朝夕はめっきりと涼しくなりましたが、保護者の皆様にはますます御健勝のことと思います。さて、今年度は熱中症対策もあり、運動会を10月30日(土)に変更しました。秋の遠足や修学旅行もこれからです。多くの行事で、児童はきっと成長した姿を見せてくれると思います。コロナ渦のため、全てをお見せするというわけにはいきませんが、御理解いただき応援していただければと思います。

## 稲刈りをしました!!



9月21日(火)、5年生による稲刈り体験が行われました。これは、学校東側にある黒崎さんの水田をお借りして5月17日に田植えをした稲が立派に育ち実りの時期を迎えたので、その刈り入れの体験をさせていただいたものです。児童は、黒崎さんの御指導の下、それぞれがうれしそうな表情を見せて取り組んでいました。黒崎さんからは、「今年の児童は刈り取りが上手いぞ」とのお褒めの言葉をいただき、児童はさらに喜んでいました。稲刈り体験はたくさんある稲作りの一部で、本当はもっともっと手間のかかる作業です。その一端でも貴重な経験させていただいたことに、児童も感謝していました。早速24日(金)に、児童が刈り取った稲とコンバインで刈っていただいた稲を合わせて、お米として届けていただきました。本校給食にも出る予定でいます。とても楽しみです。御協力いただいた黒崎さんを始め多くの方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 運動会についてお願い



運動会は10月30日(土)に行う予定です。コロナ渦ではありますが、できる限りの感染症対策を実施し公開することとしました。しかし、やはり優先すべきことは児童の安全です。そのため、参観者を御家族2名以内と制限させていただきました。それぞれの競技で入れ替わるような撮影用スペースを設けましたので、校庭内では場所取りを行わず、密を回避していただきたいと思います。また、検温など事前にお願ひしますので、学年だよりなどをお読みいただき、御協力をお願いいたします。

## 働き方改革

今学校では全国的に働き方改革を実施しています。本校でも、その1つとして定時退勤日を設けることがあります。それに伴い、17:00以降に電話対応ができない日があります。御承知おきください。また、放課後來校される際には、必ず事前に電話連絡をお願いいたします。

## 10月4日からの主な行事予定

- |       |                  |             |                 |
|-------|------------------|-------------|-----------------|
| 4(月)  | 登校バス早便遅便交換       | 14(木)       | 秋の遠足(1～5年)※6年弁当 |
| 5(火)  | 更生保護女性会ボランティア    | 18(月)       | 家読カード配付         |
| 6(水)  | 委員会⑤(6年卒業アルバム撮影) | 19(火)       | 教職員による読み聞かせ     |
|       | 北小タイム(キッズタイム)    | 20(水)       | 更生保護女性会ボランティア   |
| 8(金)  | 就学時健康診断          |             | 北小タイム(運動会全体練習)  |
|       | PTA広報委員会         |             | 通学班の話合い         |
| 11(月) | クラブ④             | 26(火)       | 更生保護女性会ボランティア   |
| 12(火) | 更生保護女性会ボランティア    | 27(水)       | 運動会予行           |
|       | PTA本部役員会         | 28(木)～29(金) | 運動会準備           |
| 13(水) | 北小タイム(校長講話)      | 30(土)       | 秋季大運動会          |



# ☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【稲刈り】



【読み聞かせ】



【タブレットを使った授業】



【ブレインジム】



己の欲せざる所は人に施すことなかれ  
『己の欲せざる所は人に施すことなかれ』という言葉聞いたことがあるかと思  
います。この言葉は、論語という孔子と弟子の問答を弟子たちが書き記した中国の古い  
書物にいくつか出てくる言葉で、次のような内容によるものです。

孔子は弟子の顔淵に向かって、「仁とは克己心を身につけて、秩序によく従う  
ことだよ」（おのれに克ちて、礼に従う、これ仁となす。）と答えました。自己を  
おさえて、自然にルールに従うようになれば最高の共同生活ができるのだ、と。  
顔淵は重ねて、一生守らなくてはならないのは何かを尋ねたところ、「それは恕  
か。己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」と返事をしたのでした。「恕」  
は許す、思いやりということです。

家族、友人関係、会社の同僚、そして学校でも、人々はどうしたら円満に共同生活  
を送ることができるかという共通の課題をもっています。現代社会では、お互いに中  
傷し合ったり、足の引っ張り合いをしたりして、相手の嫌がることをしていることが  
ままあるように思います。この孔子の言葉、「まず許し合うことだ。そして自分の嫌  
だと思ふことは、人に対してもやらないことだ」を心がければ、  
きっと暮らしやすい社会になるのではないかと思います。

ただ、他の人が自分と同じ価値観であるとは限りません。つまり、  
自分が嫌だと思ってもそれが嫌だとは限らないし、逆に良いと  
思ってもそれが嫌だったりもするわけです。相手の考え方全てを理解することは  
到底できません。しかし、「己の欲せざること」を1つの目安として相手のことも考  
えられれば、相手に嫌な思いをさせることは減っていくのではないのでしょうか。

相手が嫌な思いをすることを喜ぶような人にはなあってほしくない  
と誰しもが思っていることと思います。特に子どもたちは、大人と  
違って、周囲との関わりを考えることが未熟でありトラブルが起き  
ます。周囲の大人が支援していく必要性を改めて感じました。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。  
ぜひ御覧ください。